令和２年(2020年) ２月６日

各　　位

会 社 名　　第　一　商　品　株　式　会　社
代表者名　　代表取締役社長　正　垣　達　雄
（ＪＡＳＤＡＱ・コード８７４６）
問合せ先　　取締役総務本部長　岡　田　義　孝
電話番号　03-3462-8011(代表)

令和２年３月期 第３四半期の業績見通しに関するお知らせ

令和２年３月期 第３四半期の業績見通し(速報値)がまとまりましたので、前年同期実績と比較してお知らせいたします。

記

１．令和２年３月期 第３四半期累計期間の個別業績見通し（平成31年４月１日～令和元年12月31日）

（ 単位：百万円 ）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
令和２年3月期 第３四半期 （ 当四半期速報値 ）	3,071	378	395	361
平成31年3月期 第３四半期 （ 前年同期実績 ）	2,415	△471	△435	△449
増　減　額	655	849	831	810
増　減　率　(%)	27.2	―	―	―
平成31年3月期 通期 （ 前年通期実績 ）	3,538	△327	△285	△310

２．説明

当社の主力である貴金属先物取引において、売買手数料収入が順調に伸び、営業収益は3,071百万円(前年同期比27.2%増)となる見通しです。経費抑制は継続して行っており、営業利益は378百万円(前年同期は471百万円の損失)となり、経常利益は395百万円(前年同期は435百万円の損失)となる見通しです。また、商品取引責任準備金の繰入と戻入が差引では約２百万円の利益となっております。四半期純利益は361百万円(前年同期は449百万円の損失)となる見通しです。

なお、これらの速報値につきましては、現時点での合理的判断による見通しであり、実際の業績数値とは異なる可能性があります。

※ 当社の業績は商品市場や為替市場等の相場環境の動向に大きな影響を受けることから、業績予想の開示は控えさせていただいております。なお、業績数値の合理的な見積りが可能となった時点で、このような業績見通し(速報値)の開示を適宜行っていく予定です。

以　上